



MAYTHEATER ANNIVERSARY

メイシアター開館40周年記念誌

40th 2025



©Ai Hirano



©桂秀也



©桂秀也



SUITA x AP
すいたあ



アーティストと市民、伝統と挑戦、
つなぎ積み重ねた40年を
これからの一歩へ。
開館40周年のこの一年も、
「つなぐ」時間そのものでした。
その記録を、ここに
ご紹介します。



2025年9月10日(水)~14日(日)
会場：中ホール(全6回公演)

MOTHER

君わらひたまふことなかれ



第4回
関西えんげき大賞(2025)
優秀作品賞を
受賞しました!

+ 吹田発、
渾身の評伝劇。 +

マキノノゾミ×内藤裕敬×キムラ緑子×升毅。
関西小劇場演劇の黄金世代が集結。歌人・与謝野
晶子と夫・鉄幹が、若き文学者や社会活動家と
ともに時代を懸命に生きる姿を描いた、芸術選奨
文部大臣新人賞受賞(1994年度)のマキノノゾミ
の傑作。メシアター40周年プロデュース公演。



—記者会見—



—アフタートーク—



—約1カ月の滞在稽古—



DATA

【作】マキノノゾミ
【演出】内藤裕敬(南河内万歳一座)
【出演】キムラ緑子 升毅 や乃えいじ(PM/飛ぶ教室) 平井久美子 坂口修一 國藤剛志
(SEVENSENS) 為房大輔(劇団ZTON) 有田達哉(南河内万歳一座) 長橋遼也(リリパットア
ミーII) 丸山文弥(南河内万歳一座) 菊地彩香(関西芸術座)
【スタッフ】舞台美術/柴田隆弘 舞台監督/伊達真悟 照明/血袋誠路 音響/奥村威
衣装/中村洋一 阿久津真与 ヘアメイク/Angie 演出助手/KENSUSAKI



Midoriko
Kimura

Takeshi
Masu

キムラ緑子、升毅

与謝野夫妻として中ホールに立つ。

Comment!
キムラ緑子



まだ京都に居た頃から、幾度となくメシアターの舞台に立たせてもらう
機会があって、同シアターは思い出深いホールのひとつでした。今回28年ぶり
に立つことができ、また40日間吹田に住んで、この吹田市、そしてメシアター
が凄く「元気」をもらえるまち、ホールだということを改めて実感しました。
いつもホールもロビーも人で賑わっていて、老若男女問わずたくさんの方が
集うこの場所で、31年ぶりにご一緒させていただいた演出の内藤さん、升さん、
関西在住のご機嫌な俳優さんたち、そしてかつて同じ劇団にいたマキノさん
の作品に向き合い、とても幸せな時間を共有することができました。

吹田市民劇場

セレノグラフィカとあなたがおどる このカラダ、満開に



2025年10月12日(日)
会場：中ホール

誰もが主役になれる場所。

日本を代表するダンスカンパニー、セレノグラフィカを講師に迎え、公募で集まった32名の市民ダンサーが出演しました。年齢、障がいの有無やさまざまな特性・個性の人が、それぞれの身体が持つ可能性を解放する現代ダンスプロジェクト。12日間の練習を経て、あえて一つにまとめすぎず、それぞれの個性が輝く、色とりどりの花が咲くような唯一無二のステージが実現。上演の前に練習風景の映像を流したり、アフタートークで創作プロセスも紹介しました。



セレノグラフィカ×市民
40周年を祝う花束のようなステージ。



セレノグラフィカの不思議な力で自分が解放されたような気持ち。表現すること、身体を動かすことはこんなにも楽しいと気づかされた。

出演者 VOICE

障がいがあってもやり遂げられた。

短いシーンをつめて70分の演目をつくる過程がとても面白かった。セレノグラフィカの練習は、ダンスに苦手意識がある人も表現することの楽しさを味わえる。参加してよかった。



©Ai Hirano

DATA

【構成・演出・振付】セレノグラフィカ
【出演】公募による吹田市民 5歳から70歳代の32名
【スタッフ】照明/岩村原太 照明オペレーション/塩見結利耶 音響/森永恭代 舞台監督/高橋圭司 衣装/山本容子 アシスタント/阪本麻紀(烏丸ストロークロック) 柳生恵吾 映像/中島諒

お客様 VOICE

言葉はいらない、誰もがみんな楽しめる公演。

群舞は人生の交差点のよう。今この瞬間にいることに感動した。心ふるえる豊かな時間。

このようにフリースタイルで公演が成立するスキルに感心。ダイバーシティの手本。

言葉がなくても伝わる表現がすてき。



DANCE!

桂米朝生誕百年記念 桂米朝一門会



2025年5月18日(日)
会場：中ホール



DATA

【番組】米朝落語「つる」(映像)
+ 出演者座談会:南光・千朝・米左・吉弥
+ 桂吉弥:「軽業」
+ 桂南光:「青菜」
+ 桂米左:「七段目」
+ 桂千朝:「鹿政談」



米朝一門、揃い踏み。
中ホールに笑い満ちる。

RAKUGO!



生誕百年。
笑いの系譜、ここに。

市民の声が、 歓喜の歌になる。

夏に募集が始まり、秋から練習がスタート。ドイツ語の歌詞に四苦八苦し、パート練習と合わせ練習で「ハーモニー」を体感する。そして年末、藤岡幸夫さんの指揮のもと関西フィルの演奏に自分たちの声を重ねた瞬間——歌い終わった後の笑顔と涙が、すべてを物語っていました。



©榎村写真事務所



練習の成果を、大ホールで。
市民合唱団×関西フィル。

吹田市民劇場

関西フィルハーモニー管弦楽団 吹田市民の第九



2025年12月21日(日)
会場：大ホール

DATA

【指揮】藤岡幸夫
【ソリスト・合唱指導】清原邦仁 西原綾子(以上関西歌劇団) 東平間(関西二期会) 古瀬まきを
【合唱団】公募による市民180名 吹田市立第一中学校15名 高野台中学校4名



©青柳聡

内尾文香ヴァイオリンリサイタル

40th ANNIVERSARY
2026年3月19日(木)
会場：大ホール

吹田から世界へ。

吹田で生まれ育ち、今はドイツを拠点に活躍するヴァイオリニスト・内尾文香さん。「ただいま」の気持ちで帰ってきた大ホールでのリサイタルは、地元ならではの温かさで世界水準の演奏が同居する、特別な夜になりました。



DATA

【出演】内尾文香(ヴァイオリン) 北村明日人(ピアノ)
【曲目】ベートーヴェン/ヴァイオリン・ソナタ 第3番
パッサリ/無伴奏パルティータ第2番よりシャコンヌ
エネスコ/ヴァイオリン・ソナタ 第2番
ヴェニヤフスキ/華麗なるポロネーズ 第2番



©植村写真事務所



すいたティーンズ クラシックフェスティバル

40th ANNIVERSARY
2025年12月14日(日)
会場：大ホール



大ホールに響く
十代の真剣な音色。



吹田の10代が大ホールのステージに立つ、クラシック音楽コンクール。2010年に始まり今年で16回目。予選をくり抜けた若き演奏家たちの「本気」の音は、プロ顔負けの迫力。未来の音楽家がここから生まれています。演奏が終わった瞬間に湧き上がる大きな拍手。真つすぐな音楽が、聴く人の心をつつ一日。大ホールのステージで過ごした緊張と興奮の時間は、10代の心に深く刻まれるものです。

十代の「本気」が
聴ける場所。

吹田市民劇場 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル シタタメ少女の英雄譚

40th ANNIVERSARY
2026年3月14日(土)・15日(日)
会場：中ホール(全3回公演)

プロ、学生、市民、世代を超えて、
すべてが交差する舞台。

片岡百萬両さんの頭の中にある物語を、市民キャストが「自分たちの作品」にしていく3ヶ月。最初はバラバラだったメンバーが、稽古を重ねるうちにチームになり、本番のステージで最高の瞬間を共有する。千里金蘭大学の学生たちもキャストとして奔走した、「みんなで作る」ミュージカルです。



©植村写真事務所

稽古場の試行錯誤から
本番の感動まで。



DATA

【脚本・演出】片岡百萬両(片岡自動車工業)
【出演】満腹満 大上晃史(関西二期会)
袋小路林檎 美津乃あわ 椎木ちなつ 川嶋笑優
美鈴 福澤音羽 真壁愛(以上片岡自動車工業)
オーディション合格者 30名
千里金蘭大学 学生 4名

メイシアターが「教室」に出かける理由。 小学校アウトリーチ事業

40th ANNIVERSARY
2026年1月~2月
会場：市内小学校(津雲台小・吹田第二小)

「できるだけ多くの子どもに、芸術に触れてほしい。そんな想いから始まったアウトリーチ事業。能楽、演劇、弦楽器の演奏を学校に届けました。メイシアターの舞台は、ホールの中だけにはとどまりません。

教室も体育館も「舞台」になった。



650年の笑い、メイシアターで体感。 茂山狂言会

40th ANNIVERSARY
2026年2月8日(日)
会場：中ホール

茂山千五郎家の至芸。日本最古の喜劇を、肩肘張らずに楽しむ至福の時間。



【出演】茂山千五郎 茂山あきら 茂山宗彦
茂山逸平 茂山千之丞 松本薫 島田洋海
増田浩紀 井口竜也 山下守之
笛/貞光訓義 小鼓/古田知英
大鼓/守山泰幸 太鼓/三島元太郎

©桂秀也

和太鼓ワークショップ

40th ANNIVERSARY
2025年7月~8月(6日間)
会場：大ホール・中ホール

政本憲一さんの声に背中を押され、子どもも大人も夢中で打ち込んだ夏の記憶。全身で音を出す喜びは、言葉では伝えきれません。

【講師】政本憲一(和太鼓政や)



成果は8月23日(土)
青春太鼓祭で共演!



メイシアター公園ライブ

金管五重奏

40th ANNIVERSARY
2025年11月8日(土)
会場：いずみの園公園



若手演奏家による演歌から
ポップス、アニメソングまでの
プログラム!

Suita Intercollege Festival

40th ANNIVERSARY
2025年11月16日(日)
会場：いずみの園公園



青春×音楽×
ダンス×コーヒー
4大学の若いパワー、
野外で爆発!

